

# カリンバ



縄文の  
くらし



島松小学校  
四年

奥田力斗  
奥田乃太



# 目次

はじめに . . . 1

カリンバのいせき . . . 3

大昔のくらし . . . 6

土器をつくってみよう! . . . 9

土器をやいてあわをにたきしてみよう! . . . 10

言周べてみてわかったこと . . . 11

使ったし料名、図書館名 . . . 13



# はじめに

みなさんは自分の住んでいる町が昔どんな人が住んでいて、どんな暮らしをしていたのか考えたことがありますか？学校の授業で学習したりするきっかけがないと、ふたふたあまり考えないかもしれません。

ぼくがカリンバいせきを言周べようと思ったきっかけは二つあります。

一つは北海道開拓記念館で開かれた北の土ぐうを学校の授業で見学した事です。

ぼくは土ぐうを初めて見た時、昔の人しはなておもしろい形の人形を作るんだらうと、すごいと思いました。クラスの友だちも、火田で見つけた土器のかしらを学校に持ってきて見せてくれたりしました。ぼくは、こんなに住んでいる戸所の近くで土器などが見つかることにびっくりしました。

もう一つのきっかけは、恵庭市で恵庭きょう土学び教室という土器作りを体験できる会員になって、そこでカリンバいせきが恵庭にあることを知りました。

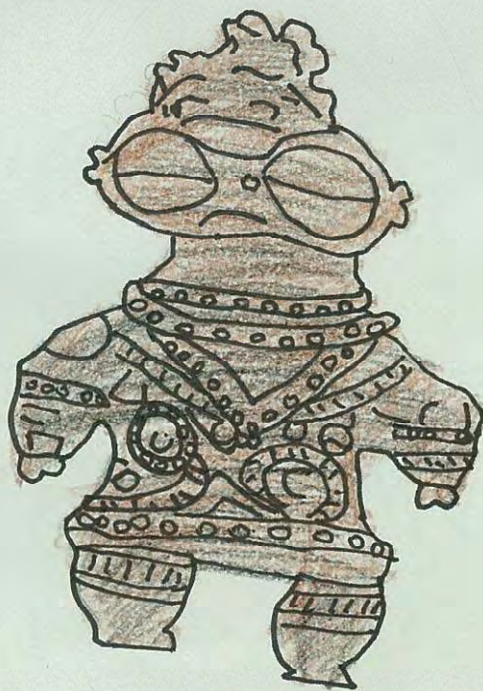


学び教室はボランティアの人が中心となって、  
鬼庭の歴史や地図作りをしたり、土器  
を作ってあわをにたき体験をして、

大昔のくらしを体験するものです。

毎月1回ぐらい、きょうとし料理館に集まりま  
す。きょうとし料理館には、カリンバいせきや  
昔のくらしで使われていた道具などが  
てんじさかれていて、昔の遊びなどが体験  
できます。

毎回見ているうちに、昔の人たちがどん  
なくらしをしていたのかきょうみが  
おきました。





# カリンバいせき

北海道には11883か所(20114月げんざい)のいせきがあることを知っていますか?

これらは旧石器～明治初めまでの人たちがのこしたものです。そして道内のいせき委文94%が縄文時代のいせきをふくんでいて、

ほとんどの市町木寸で縄文いせきは見つかっているのです。カリンバは1999年黄金中央

黄金地区で見つかった昔のおはかです。土器のかりげらなどから今から約3000年前のじょうもん時代のものとおかりました。カリンバのしまかにも

恵庭市には大小約120もの大昔の生活のあとがのこっています。いせきには

それぞれ番号や記号がつけられていて、カリンバいせきのカリンバとは、

アイヌ語で木安の木の皮  
という意味です。



いせきがはくつされた場所





以前はこのいせきの近くを  
いせき名のもとになったカリ  
ンバ川という小川が流  
れていました。いせきはこの  
川が流れる低地面と2〜3  
ほど高い段丘面にのこさた  
縄文時代から近世アイヌ文化  
期のいせきです。

カリンバいせきの  
しょうへん図



とくに縄文時代後其月末から  
日免其月初め(今からやく3000年  
前)のころのうるしせいの品を多  
数おさめたが、そらばは国のいせきに指定されて  
います。



耳かざり



うるしぬりのくし



まが玉



# まいそうされていた 人の想像図



119号墓か123号墓

118号墓

123号墓にまいそうされた人はかみにくし3こをさしてかざり、ひたいには4このうるしの輪とサメの歯このひたいかざりをつけていると思われます。うるしの輪は、ぬのせいのひもかハチマキ状のものに糸でぬれつけて使用したものでしょう。オレンジ色の耳かざり輪とまが玉、こはく玉の首かざりもつけていたようです。



118号土坑墓

119号土坑墓

123号土坑墓



# 大昔の恵庭 <大昔のくらし>

今から約2万年前の氷河期日本がユーラシア大陸とつながり、つぎになっていた寒い時代に動物を追った人間が北海道に入ってきました。平気な気温は今より2℃高く、海面は3~5m高いので、恵庭は今より海に近かったそうです。

恵庭だけから流れ出る漁川にそった恵庭はハンキなど大木が並び、けものや里子鳥がくらすたかな土地でした。ここには大昔から魚、やけもの木の実などをとってくらしした人たちがいました。そのあと、この土地にアイヌの人たちが小さな村を作ってくらすようになったそうです。

大昔の人たちはどんなくらしをしていたのでしょうか？

## 予想

縄文時代の食べ物→魚をくさしにしてやっていた。  
草、キノコ、さんさい、しかなどをやいて食べる。  
ふく→ワラであんだものけもの皮をつかっている  
いえ→ワラでできている



# 果吉糸のた月言

糸集の社会でした。旧石器時代からの大きなちがいは、木の  
 実や肉などをにる土器の出げんです。

①

食べもの→自分たちで見つけ、手に入れ、言周理しました。  
 しゅりょうとさい集を生活のもとにしていまし  
 た。山形県高はた町のおん出いせきからクッ  
 キーなどを言周理したのではないかと考えら  
 れるクッキー状炭化牛物が「出エ」されています。  
 しかもきわめで栄よつかの「高い、ろうしよく」をほど  
 こしている食べ物であることがわかりました。





② 衣服 → カラムシやオオアサなどのくきの表皮を  
はがして、貝の道具をつかって表皮か  
らせんいになる部分をとる。川の水  
にひたしてたたいてせんいをとる。こ  
れをほして糸をとりかん単な道具  
であんでぬのをぬいあわせて服  
を作りました。

③ 家 → 何人かがより集まってムラをつくり  
生活をしていました。  
大きなムラは三〜四けんから十け  
んほどの家がまん中の広場を  
かこんでわになつて建ちあがっていま  
した。たてあな式じがうきよしに主人  
でいました。

## 感想

昔の人の家のつく  
はかんたんだと思  
った。くきの表皮を  
はがして服にするこ  
ろを考えたのがすご  
いと思った。肉が  
ついていたりする  
シキもつくってし  
たこともおど  
ろきました。

### たてあな式じがうきよしに主人 堅穴式住居のつくり方

棟木  
もぎ

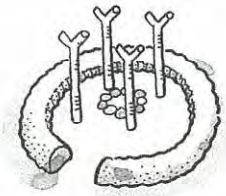


④ ながなめ材を  
土にうめこみ  
棟木をのせる。



① 地面にたてあな  
をほる。

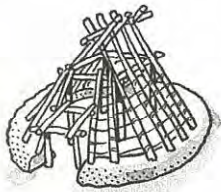
② 柱のあなに四本  
の柱を立てる。



③ 柱にけたを  
かけてながなめ材を  
立てかける。



⑤ 細かく組み  
こむ。



⑥ カヤでおおそ  
ごまあがり。

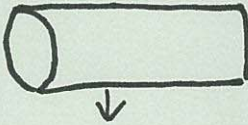


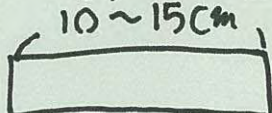


# 土器を作ってみよう!!

## 土器の作り方

① まずねん土で直径5  
5~8cmのあつさ1cm  
の円ばん(その部分)を作  
ります。

② 直径3cmのねんど"ぼ"  
うを作り、

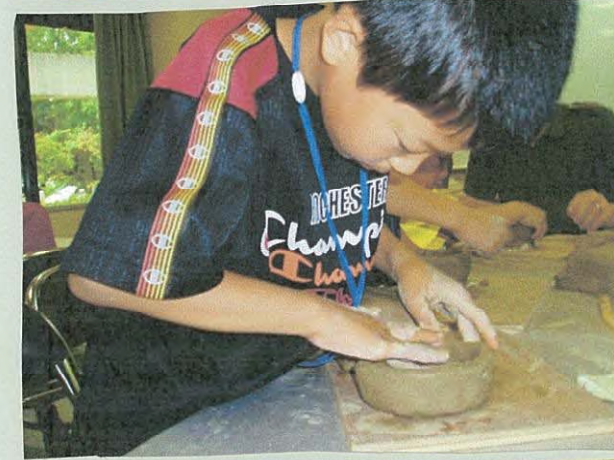
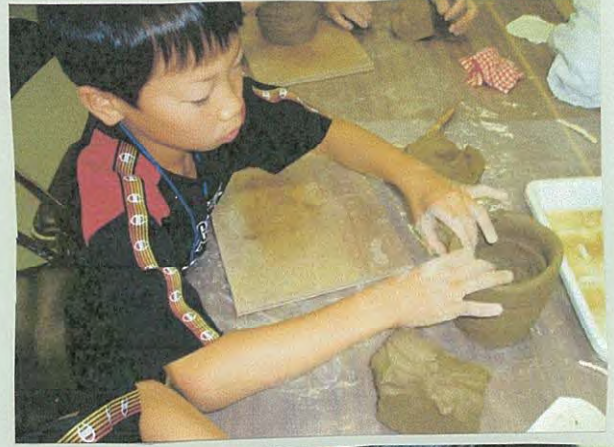
長さ10~15cmのねん土板  
を作ります。

③ ねん土板をその部分に  
つけて形を整えます。

④ 1か月くらいかんそうさせたら  
土器をやきます。

## 感想

ねん土板とねん土板をくっつけたいあつさを同じに  
するのがむすかしかたです。  
なわや木べらでもようをつけるのが楽しかたです。





# 土器をやいてあわをにたきしてみよう。

## 土器のやき方

- ①もやすえだを穴の中に入れ、ブロックでかこんでその上に土器を置き土器の全面をあぶります。
- ②何度も小えだをたして2時間以上やきます。



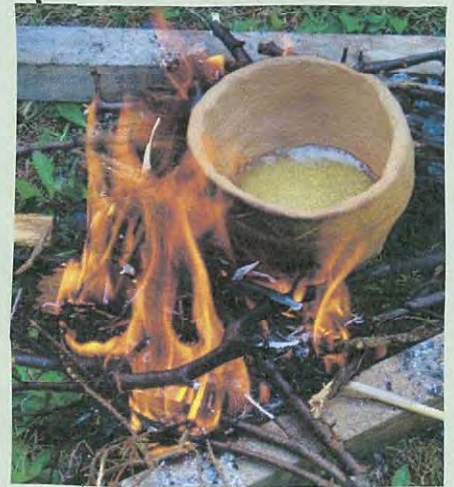
## 感想

かんせい品→

やいただけでやわらかかった土器がこんなに  
かたくなるなんてびっくりしました。

ねん土に空気が入ってわれてしまうか心配だったの  
※土器をやいている間、小えだをもやしてあわを

たいてみました。たいていると中の  
水がもれしてしまうので何度も水をた  
しました。昔の人は水がもれない  
ように土器の内がわにテンパン  
をぬっていたそうです。



感想 あわはもちみたいでやわ  
らかくておいしいけど、何度も食べたらあきそう  
です。お米を食べられるのはせいいくなことなんだなと  
思いました。



# 言周べてみてわかったこと

一番しほくがびっくりしたことは、しほくたちがふだんなにげなく車で通ったりしている所がいせきのしほくつされた場所だ。たりした事です。いっかしほくたちがくらしていたあとを、だれかが見つけたりするのかなと思いました。二番目にびっくりしたことは、カリンバいせきの時代の人たちは、いかにいとおしゃれだったことです。うるしぬりのきじゅつがあったりきれいな石やサメの歯などで着かざったりしているところは、今の人たちと変わらなれいと思いました。また、その文化がアイヌの文化にうけつがれ、今の北海道の地名などもアイヌ語が元になっていることも知りました。こうやって昔の人の文化が今につながっているんだなと思いました。

サメの歯



まが玉の首かざり ←



土器作りやあわのいたきを体験して  
感じたことは土器一つを作るのに、と  
も日時間かゝかり大変だったことです。  
いっしょうけんめい作っても、ねん土に空  
気が入っていておねたりすることもあるし、火をずっともやすために何日時間  
も木をくべっぐけるのも大変だと思いま  
した。大変なさぎょうをするために、一  
人でできないので大ぜいのボランティア  
の人たちとやりました。昔の人たちは  
こうやってみんなで協力しあわないと  
生活することができなかつたのでしよと  
思いました。ぼくたちの時代はお店  
に行けばすぐに食べ物や生活に必要  
な物はかん単に手に入ります。また、一人  
で楽しめる物もたくさんあります。昔の人は  
便利な物はないけれど、今よりもっと人の  
つながりを大切にしていたのではないかと思  
いました。  
今の便利な生活の中にカリニジの人たちが  
大切にしていた人のつながりを大事に思えるよう  
な場をもっと取りいれたらぼくたちの生活  
がもっとよくなっていくのではないかと思  
いました。



# 参考資料

のびゆく恵庭 恵庭市教育委員会

カリンバいせき図録 恵庭市郷土資料館

国指定史せきカリンバいせき 恵庭市教育委員会

糸縄文のまちハンドブック 北海道縄文のまちづくり会

**恵庭市立図書館資料**

いまよみがえる糸縄文の都 国木としひで

日本のいせきなんでもじてん 白石太一郎

石器・土器・そうしよく品をさぐる 平尾良光